

作家の文学形成と 「地方同学コミュニティ」の研究 —井伏・高田と宮沢賢治の場合—

井伏鱒二と宮沢賢治は、1898（明治31）年・1896（明治29）年生まれ
の同世代人で、1910年代から1920年代にかけて青年期を過ごし、1920年代後半から
1930年代にかけて新しい文学の表現を提示しました。

彼らは、明治の新しい学校教育の確立期に教育を受けた世代であり、
「国語第一世代」でもあります。
その教育環境＝「地方同学コミュニティ」が、彼らの文学形成にどのように関係してい
るのかを、盛岡と福山の二地点で比較し、同時代性・地域性を明らかにします。
そのうえで、新しい文学の形を提示することを目指します。

共催 | 岩手大学人文社会科学部宮沢賢治いわて学センター / 宮沢賢治学会イーハトーブセンター

2025 7.27 13:30~17:00
[日] 岩手大学
北桐ホール [教育学部1号館]

盛岡高等農林学校・同学コミュニティの関連から

『作家の文学形成と地方同学コミュニティ』
—宮沢賢治の盛岡高等農林研究生時代の一般教育と「心象スケッチ」構想を通して—

青木 美保（福山大学 名誉教授）

『河本本から見る『アザリア』』

平澤 信一氏（明星大学 教授）

盛岡中学・同学コミュニティの関連から

『石川啄木「心の姿の研究」と宮沢賢治「心象スケッチ」のシンクロニシティ』

森 義真（近代文学研究者）

『1930年前後の胆江地域における同学／同郷コミュニティの様態について』

塩谷 昌弘（盛岡大学 准教授）

同世代としての宮沢賢治と井伏鱒二

『宮沢賢治作品における方言使用とその機能』

大野 眞男（岩手大学 名誉教授）

『〈農民芸術〉の主体像—理念と実像の行方』

栗原 敦（実践女子大学 名誉教授）

スケジュール

● 13:30 [開場]

I

● 13:40 青木 美保

● 14:00 平澤 信一

II

● 14:20 森 義真

● 14:40 塩谷 昌弘

● 15:00 [休憩(10分)]

III

● 15:15 大野 眞男

● 15:35 栗原 敦

● 15:55 [質疑応答]

● 16:15 [総括] 青木 美保

● 16:30 [閉会]